

平成 27 年度

広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会

シラバス

1) ロービジョン者の知覚心理特性と支援法

平成 27 年度広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会に係る講義内容（シラバス）

開設科目（授業科目）名	ロービジョン者の知覚心理特性と支援法（H27 認定講習）	
講師名	広島大学大学院教育学研究科 准教授 氏間和仁	
開講期日	平成 27 年 12 月 26 日～27 日	
講 義 内 容		
視覚情報処理の構造と機能・光学・心理特性の理解を深め、それらの知識に基づいて視覚障害者の教育的支援について視覚補助具選定や情報機器の設定・使用等の方法を習得する。		
一 日 目	8:50-9:00	オリエンテーション
	講義①② (9:00-10:30)	視覚障害の定義と教育制度 視覚障害の定義について教育、心理、医療の各視点から整理し、視覚障害者の教育制度について概観します。
	講義③④ (10:40-12:10)	視覚障害理解のための光学（光学の基礎） 視覚を理解するのに求められる光学の基礎について解説します。
	講義⑤⑥ (13:00-14:30)	視覚障害理解のための光学（視覚の中での光学） 眼が見える仕組みを光学的に解説します。
	講義⑦⑧ (14:40-16:10)	視覚情報処理系の理解 視器・伝導路・中枢の概要について解説します。
二 日 目	講義⑨⑩ (8:40-10:10)	教育的視力測定 視力の意味、小数視力の特徴と教育での利用について解説します。
	講義⑪⑫ (10:20-11:50)	光学的視覚補助具の選定 拡大鏡・単眼鏡の選定について解説します。
	講義⑬⑭ (12:40-14:10)	視知覚心理特性に応じた AT による視覚支援 アシスティブ・テクノロジー(AT)導入の意義と、視覚化法・視覚補償法・視覚代替法の活用を視知覚心理学特性の視点で解説します。
	講義⑮ (14:20-15:05)	視覚障害特性の評価のためのタブレット端末利用 視機能等の測定のためのタブレット端末の利用法を解説します。
	試験 (15:15-16:00)	事前課題及び本講習で取り扱った内容について記述式の試験を実施し、その結果により評価を行います。

【携行品】

30cm定規（30cm以上の長さでも可）、電卓（専用機）を持参してください。

資料は、受講者本人が氏間研究室のホームページよりダウンロード及び印刷して持参していただきます（事前課題があります。資料の入手法については、受講決定通知時に連絡します）。

2) 触覚の理論と教材作成の実際

平成 27 年度広島大学特別支援学校教諭免許認定講習会に係る講義内容（シラバス）

開設科目（授業科目）名	触覚の理論と教材作成の実際（H27 認定講習）	
講師名	広島大学大学院教育学研究科 教授 牟田口辰己	
開講期日	平成 28 年 1 月 9 日～10 日	
講 義 内 容		
盲児童生徒の理解と触覚の特性を理解するとともに、触地図や点字教材などの触覚教材作成の実際と指導法の習得及び教育課程の関係についての知識を習得する。		
一 日 目	8:50-9:00	オリエンテーション
	講義①② (9:00-10:30)	視覚障害教育の教育課程と指導法：学習指導要領各教科に示された配慮事項を概観し、視覚障害教育の具体的方法と触覚教材の役割を解説します。
	講義③④ (10:40-12:10)	点字エディタと文書作成：パソコンによる点字入力の方法を紹介し、フリーウェアの点字エディタをインストールして、作成の実際を学びます。
	講義⑤⑥ (13:00-14:30)	墨字から点字への自動変換：漢字仮名混じり文の電子データを点字データに変換するフリーウェアソフトをインストールして、作成の実際を学びます。
	講義⑦⑧ (14:40-16:10)	触覚の特徴と教材作成の方法： 視覚と触覚の特徴を理解するとともに、図版による触覚教材作成の具体的方法を学びます。
二 日 目	講義⑨⑩ (8:40-10:10)	立体コピー教材作成の実際①： 教科書にある地図などの図版を元に、これらの原図をパソコンで作成する方法を学びます。
	講義⑪⑫ (10:20-11:50)	立体コピー教材作成の実際②： パソコンで作成した原図を、発泡剤を貼付したカプセルペーパーに印刷するまでの実際を学びます。
	講義⑬⑭ (12:40-14:10)	点図作成ソフトの実際： フリーウェアソフト「エーデル」を用いた点図作成の実際について学びます。
	講義⑮ (14:20-15:05)	真空成形による教材作成： 真空成形による「サーモフォーム」と「バキュームフォーマー」の機器を紹介し、教材作成の実際を紹介します。
	試験 (15:15-16:00)	触覚の特性及び触覚教材作成の方法について簡単な試験をします。その結果と各自が作成した教材を元に評価します。

【パソコン持参等のお願い】

本講義では、パソコンを活用して触覚教材の作成を行います。

- パソコンを使用します。当日 Windows ノートパソコンを持参できるか否かを、申込用紙に記入してください（Mac は不可。ソフトをインストールできる私用の PC のみ可、公用は不可）。持参できる人は十分に充電しておいてください。
- 点字の読み書きの知識が必要です。初めての人は事前に学習をしておいてください。